とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話1351番
本紙購読料　一部25円　一カ月75円　一カ年前納750円

問題点を論議

足寄町議会の一般質問

定例第一回の足寄町議会は三月十二日に開会して二十二日に閉会しましたが、当面の問題点についての一般質問の主な論議はつぎのとおりです。

金融機関の指定

斉藤副議長　消防行政について総務委員会の報告のとおり消防長が非常勤で不在の姿はナンセンスである機構の欠陥は一日も早く改めるべきだがどう対処するのか、指定金融機関の問題はどちらがいい悪いの批判はしないが、道銀と信金が指定をめぐつて論議があるので当時のテープをきいたが、町長は変更もあり得ると答えている、ひとつの利権をあたえるもので一方に偏した決定はいけない、競願者があれば永久不変でなく協力を求めるべきである交替の公平な原則に立つべきである、交替制をとるかとらないか

小林町長　消防行政はそのように考え常勤の体制を近い将来考えたい、指定金融機関の問題は当時の理事者の考えは知らないが、未来永ごう道銀を指定するのかとの質問にたいしてそうではないと答弁しており、当時交替の議決をしていれば今日の事態はない、私としては未来永久に道銀とは考えないが道銀に事故や落度はないので二年間の時期に公平に判断して検討するつたさいか、電話で係にでも尋ねておけば用が足りそうな質問であつたり、通告制によつて何日か前に質問の件名や要旨が理事者側に渡されているのにシドロモドロの答弁であつては、ともに頂けないはなし。

○…臨時町議会は必要がある場合にその事件に限つて招集されるのにたいして、定例町議会は付議事件のあるなしにかかわらず年に四回招集する建て前となつていて、この定例会では議員は一般質問と称して町政全般について自由に質問の機会があたえられています。

○…議会は議員と理事者とが対等の立場で大いに論議するところで、この一般質問の機会をとらえて実のある論議が展開されるべきですが、大半は役場に立ち寄なので信金支持派議員が交替制を主張、道銀を継続するなら議決はいらない町長の権限なのだが小林町長はどちらのご機嫌も損じないようにと気を使つた答弁をくり返すがどちらにしても二者択一の問題で、八方美人ぶりの余地はありません

○…公用廃止地問題にしても、農地価格で売りましょう、都市計画もやりましょうでは、これまたどつちつかずのその場かぎりのヤツツケ仕事で、真の解決策ではありません。

ともに頂けないはなし

斉藤副議長　なにかわかつたようでわからない、後日また精力を使つて運動し合う、できれば両者が安心できるメドを立つようにすべきで町政の円満のために明確にしたい

小林町長　両者が安心できる措置は難しい、その時点で判断するしかない

斉藤副議長　一方的に継続の扱いと想像するが、適当な時期に交替もあると意志表示するか

小林町長　執行のなかで一方が不利にならないようにしたい、変更はあり得るが、未来永ごうとは考えない

積立金九千万円

宮口議員　四十二年度の繰越金はどのくらいか、補正予算の見通しはどうか、他会計への繰出しを続行するか、理事者の給与アップの所信をききたい、小林町政の柱をどこにおくかビジョンをききたい、鉄道が完成したあかつきはどうなるか

沼田助役　四十二年度では財政調整積立金から三千九百万円を引き出したのでその分だけ赤字となるが、町税の増収四百万円、交付税増百三十万円、不用額二％一千百三十万円を見込み計一千六百三十万円となるこんご国の補助、起債の決定分を予算化すれば四十二年度に近いものになる、企業会計への繰出金は公債費に見合う分を繰出しする

小林町長　三役と議員のアップは私個人の気持は別として一生懸命仕事をするにふさわしい報酬でなければならない、基幹産業の農業を一日も早く安定させたい、有休の土地でないよう最高度に活用し所得をあげてゆきたい、酪農を振興させ、直営による造林から部分林を進め遊んでいる土地をなくしたい、酪農の近代化計画により乳製品、畜肉加工場を誘致したい、白樺線などによつて交通の要衝となるので車輌販売関係や農機具工場などを考えたい

宮口議員　四十二年度は実質的に二千二百七十万円の赤字だが、財政積立金はどのくらいあるか、取扱いはどうしているか、理事者や歳費のアップはお手盛りといわれるが審議会の答申をまつて提案すべきでなかつたか

富田総務課長　四十二年末の財政調整積立金は一般会計で七千五百万円、特別会計で一千六百円あり、道銀と信金に四千万円づつ預金している

小林町長　報酬の問題は議決機関で差支えないと考える

計画町政をどうする　神本議員

神本議員　計画行政といわれるが町の総合計画作製はお粗末すぎる、専門職員を配置してやるのか、小林町政の四十五年までどれだけ執行するか計画性をききたい、土地基盤と道路網の整備計画はどうか、議会が各地を視察して報告しても活きていない、議会が送付しつ放しも反省せねばならないが卒直にとりあげて頂きたい、理事者、職員の執行体制はタテヨコの連携がない、課長会議を常にひらいて積極的に付議すべきである、農業改良普及所の統廃合に反対し各町村に配置すべきではないか

小林町長　総合計画は山村振興法の作業が入り多少おくれた、基本は四十三年から五十二年までの十カ年で道の第三期総合開発計画を考慮し四十六年を目途に策定をはかる、専門職員を配置せねば充分でないが他の面の人事も考えたい、課長会議を四月から毎月五日に決定し毎日朝礼をし私以下胸に氏名章をつける、農業改良普及所の統廃合は町村会の大半は反対で、基本的に反対である

谷産業課長　一千四十戸の農家を六百戸の酪農とし平均二十㌶、混同経営百五十戸で他は兼業農家となる農道は十一地区で二万四百㍍、一億五千万円の事業費となる

神本議員　機構改革や人事異動をやる考えがあるか

小林町長　機構改革には時間をかけ人事異動はある程度行ないたい

旧西小実習地問題

久保田議員　西小の実習地の問題、町有地として有効に利用すべきで、道路を整備して子供達の遊び場としたい、町の指名業者の格付ＡＢＣは格上げすべきではないか

小林町長　旧西小の実習地は昨年来の問題で解決に努力したが公用廃止地との関係もあり近い将来議会に報告したい、格付の問題は基準があり公平に検討する

小泉開発課長　旧西小の実習地のこんごの利用計画はハッキリしていない

久保田議員　公用廃止地に関連はない、遊ばせないで子供の憩いの場にしておけばよい

小林町長　相手方があり利用の点は成案を得たい

ヤバンな野天火葬場　阿部議員

阿部議員　総合グラウンドの設置について教育長は中学校の裏を買収どの答弁があつたが計画はないのか墓地の問題は昨年の町内視察のさい進言したが、おきざりにされ非文化的である火葬場もヤバンなものを許可している心境と計画をききたい、オンネトー診断の結果によつて観光開発の要素が増したが現状のままの姿を残すのが町のプラスかこんごの計画をききたい

小林町長　火葬場と墓地は市街地に近代的なものを設置したがへき地にたいして町が霊きゅう車を考えてほしいというが民間の方が車をもちたいとのことで民営圧迫はいけないので委託もよいと考えるので協議して成案を得たい、オンネトーの観光開発は自然美、原始美を残し施設は適当でない診断で、湯の滝の附近に施設するのがよろしいと考える、鉄道も観光を重点としており整備してゆきたい

清水教育長　総合グラウンドは現在ある施設を利用し拡充してゆき三方面の統合中学校附近に確保してゆきたい、市街はやがて福祉施設を設けたスポーツ公園を考えたい、足寄高校に道費国費四百四十万円で夜間照明を施設し町営グラウンドのようにして頂ける

喜多社会課長　墓地は三十カ所あり管理がおこなわれていないので整備すべく町の総合計画のなかに入れている

斉藤（祐）議員　農家負債整理対策は一億一千万円に対し二千万円しか決定しない、こんご行政的対策があるか、酪農家六百戸となると離農対策が問題となるがどうか、農村電気の北電移管はラワンの小水力、開拓の一億一千万円の施設借入れ資金についで町の姿勢をききたい、農村後継者対策として農業学園普通科二年、高等科三年で青年学級を開鎖するというが農協の酪農学園と一本化するかをきたい、給食費や保育料があがるかどうか

谷産業課長　負債整理対策は当初一億一千万円が対象だつたが大蔵省の方で組管や外部負債を除き二千四百六十万円、四十六年の一千二百万円で合計三千六百四十万円となつた、農林省と大蔵省との折衝がゆき詰り困難をきたした、町に十億円の負債があり長期低利資金の運動をしてゆきたい

北電移管後の管理義務が苛いが検針や徴収など受益者にやらせないよう段階的に解消をはかりたい、一般供給の形にしてゆきたい

清水教育長　給食費はまだその段階でないが四十七円から五十円で栄養が高くバラエテーに富んだものを毎日変え六十種くらいの献立を案とし、この土地で生産されるものを購入して安いものでやつてゆきたい

小林町長　農業学園と酪農学園の一本化は施設や指導陣に困難性があるが成案を得たい

喜多社会課長　保育所の給食はオヤツで国の基準は三十円九銭で十円程度町のもち出しとなる

斉藤議員　離農対策はどうか、北電移管の問題は町村会でとりあげていないか給食センターの運営で受益者の負担はどうなるか

谷産業課長　低家賃住宅に在村離農をしてもらい労働力不足を補い開拓制度と同じに町と団体で解決してゆきたい

小林町長　町村会でとりあげていないが大きな問題であり朝日会長にもお願いしている

清水教育長　給食センターの運営費は受益者にかからぬようにしたい

伊藤議員　魚菜市場は帯広の分場に変つたが欠損の場合町がホテシするのか、金融機関の指定はいつどの時点で変るのか、町有地の高度利用というが旧西小実習地はことしも荒廃地、雑草地とするのか、前三役への退職記念品は考えないか

小林町長　魚菜市場の問題はこんごのことで分場の設置につとめている、指定金融機関は二年後に考える旧実習地は結論を見出して報告する、前三役への記念品は過去において強く指摘の意見が出ており形だけのことなら検討したい

遠山議員　行政報告でもしたので重複するが、公用廃止地は三十五年いらいの県案で議会として重要な問題で処分をおろそかにできない、最低二万四千円から最高九万円で処分するならむしろこれから関係者に農地売渡し申請を出させて道へ返還する考えはないか、経過は新しい議員はわからず、我々も記憶を呼び戻すために資料を配布してもらいたい

（以下第二面へ）

上野カメラ堂
カメラ
八ミリ
写真材料
上野復興
足寄駅通り　Ｔ四二〇

不動産についての御相談は
調査、売買、あつせん、管理、分譲
代行、登記、損害保険代理まで
北海道免許十26号
同和、興和火災保険代理店
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　Ｔ三四五

近代住宅に新建材！
家具　建具　製造　各種サッシ施工
各種建築資材
新築　改築に御相談下さい！
桜井建具店
足寄町北五区　電話362番

技術に生きる！
テレビ
ラジオ
ステレオ
レコード
世界のビクター
あらゆる電気器具
有限会社　ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話142番